



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

新しい旅の始まり

学校長 大平 和男

昨年十一月の全校朝会で、中国広東省で起きたある事件の話をした。一人一人の小さなモラルの喪失がやがては社会全体のモラルを崩壊させていくということの話したのだった。あの時、時間がなくて話せなかった。あのモラルを確立した人間と言っているかと思う)の話をした。耳目を集めた事件、よく語られる話であるから知っている人も少なくないかと思う。

一つは、ハドソン川の奇跡。二〇〇九年一月十六日、ニューヨークのラガーディア空港を離陸したUSエアウェイズの飛行機が離陸直後水鳥の群れに遭遇し、両方のエンジンを水鳥が吸い込んで失速、墜落した事故。管制官は最寄りでの着陸を指示したが、間に合わないかと判断したサレンバーク機長は、咄嗟に眼下のハドソン川に着水する。氷点下の寒さの中で整然とした脱出、懸命の救助作業が行われ、乗客乗員百五十五人が全員無事に救出された。まさに奇跡であった。機長は全員の脱出を見届けてなお二回沈みゆく機内を見回り、誰もいないことを確認して最後に機を去ったのであった。

全世界が彼を賞賛した。彼は五十七歳。空軍戦闘機の操縦士からUSエアウェイズに移って二十九歳のベテラン。インタビューに答えてこう語っている。「エンジンが停止した時は床で突き抜けて落ちていくような、人生で経験したことのない感覚だった。「飛び立つてから着水するまで3分間だった。私のこれまでの人生は、この時を乗り越えるための準備期間だったように思う。」と。

もう一つはトイレの落書き。ソニーの元社長井深大の語るエピソードで

ある。最新鋭の設備を備えた厚木の工場が完成し、世界中から見学者がやって来る。一番問題だったのがトイレの落書き。会社の恥だからと工場長にやめさせるよう指示を出したが、止む気配がないので社長命令を出した。それでも一向に止まらないう。そのうちに「落書きをするな」という落書きまで出てくる。すると、「落書きが無くならぬ」と尋ねると、「実はパートの掃除のおばさんがカマボコの板二、三枚に『落書きをしないで下さい。ここは私の聖なる職場です。』と書いてトイレに張ったんです。」と書いてピタッとなったのだという。

これらの話から我々の学ぶことは多い。私は、プライド(もちろん謙虚さ、自分の不完全性の自覚に裏打ちされた、傲慢に随することのない確かな)を持つことの大切さ、自分の中にモラル(他者の存在を取り込んだ価値観)を確立することの大切さを思うのである。

日本を未曾有の悲劇が襲った年が終わり、季節は廻ってまた新しい春がやってくる。日本中が新しい出発を決意し、未来に向かって歩き出すようにしている。その中に君たちの船が滑り出してゆく。嵐を恐れてはいけない。立ち向かう力と勇気を君たちは蓄えてきたのだから。

「笑顔は、人生の『木もれ日』のようだ。もれ見えてくるのはその人の心である。『脳の前頭葉にある』『ミラー・ニューロン』が、他人と自分をまるで鏡のように映し合っている。だから、笑顔の人を見合っていると、その分だけ楽しく気持ちも私たちが。大切なものは『根拠のない自信』。きつとできると理由もなく信じていることだ。微笑みながら、根拠のない自信に支えられて挑戦し続けることだ。あらゆる事が可能になる。」

校内ダンス発表会

12月9日(金)、7時間目にダンス選択の生徒による第28回校内ダンス発表会が開かれた。

この発表会に向けて2年生のダンス選択者が11のグループに分かれて、作品を作り上げてきた。

オープニングはダンス部の1・2年生が担当。クリスマスシーズンにちなみ、かわいらしい幕開けであった。部活動に日々励んでいるだけあって、チームワークも抜群、洗練されたステージであった。

各グループは緊張の中、それぞれの衣装に身を包み、趣向を凝らしたダンスを笑顔で一生懸命に踊り、会場を見学者から大きな声援が送られていた。作品をゼロから創作して練習し、発表する、困難も多かったであろうが、ダンスの楽しさを全身で表現していた。発表会までの活動の中で、意見を出し合い、協力しあう喜びの中で、友情も育むことができたようである。1年生のダンス選択者も、来年の発表会に備えて、日々の授業に取り組み、今から創作のイメージをふくらませよう。



センター試験激励会

12月19日(月)、全校朝会に先だって、応援団を中心とした、1・2年生による3年生へのセンター試験激励会が開かれた。

応援団は、これまで甲鶴戦や体育祭で何度となく力をもらい、共に手を叩き声を会わせてきた演舞を見事に披露した。2年応援団長からは、よき手本として後輩を導き、真剣に努力することの喜びや厳しさを日々の姿勢で示してくれた3年生の成功を、1・2年生生徒一同で祈っているというメッセージが送られた。



三年生へ 応援団団長 吉満啓太

早朝や休み時間に四階に上がったとき、勉強に集中している、皮膚をピリッと刺激するような、そんな張りつめた空気を感ずる。肌をひりひりさせよう。その場の雰囲気から読み取れます。

「あゝわれら 学ぶものを、よく直ぐ ひとすに 己を彫む」

胸に限りない情熱を秘めて堂々と、高校3年間で努力してきたことを信じて、全力を出し切ってください。後輩たち、教職員、そして家族。皆が諸君を応援しています。がんばれ!

センター試験迫る

3年生諸君。いよいよ1月14日(土)・15日(日)の両日、センター試験に挑む時がやってきました。

1月	
1	㊤ 元日
2	㊤
3	火
4	水 3年センタープレ
5	木 3年センタープレ
6	金
7	㊤ 3年センタープレ
8	㊤ 3年センタープレ
9	㊤ 成人の日
10	火 授業開始日 全校朝会 中掃除 第7回職員会議 学校安全の日
11	水 1・2年実力考査(1日目)
12	木 1・2年実力考査(2日目)
13	金
14	㊤ センター試験(1日目) 悠学講座⑩ バスケットボール県新人戦会場
15	㊤ センター試験(2日目) バスケットボール県新人戦会場
16	月 全校朝会 センター自己採点
17	火 3年特別授業開始 スクールカウンセリング
18	水
19	木
20	金 3年進路判定会
21	㊤ 2年進研模試 1年学研ハイレベル模試
22	㊤ 2年進研模試 一鶴同窓会総会
23	月 学年朝会 生活実態調査
24	火 スクールカウンセリング
25	水
26	木
27	金
28	㊤ 2年駿台東大レベル模試
29	㊤
30	月 全校朝会 第8回職員会議
31	火 スクールカウンセリング

